

英文契約書作成の実務基本講座

▶ ドラフティングのリーガル・チェックと法律英語の基礎知識

主催 一般社団法人 国際商事法研究所

講座開設の趣旨

- ▶ 外国企業との取引に関与する国際法務担当者にとって、「法律英語」のひとつの知識をマスターしておくことは、今や必須の条件となっている。国内が国際化し“国境のない”ネット取引が拡大してこの傾向はますます顕著となった。
- ▶ 国際ビジネスの交渉の際によく使用される法律用語の、取引相手方の属する法体系との違いから生ずる思わぬ誤解などは、予防法学的に事前の対策を講じてさえいれば解決できる事柄が多い。
- ▶ 特に日常業務で接している“英文契約書”の場合、効果的なドラフティングの要領や、契約内容の審査の際のリーガル・チェックの仕方などが実務として大切であるが、いわゆるお手本となる“教科書”が存在しないことも事実である。
- ▶ 本講座は、米国ワシントン大学ロースクール終了後、ニューヨークとロンドンの著名な法律事務所でも実務に従事され、現在、渉外弁護士として第一線で活躍されている長谷川氏が、いわゆる良い契約書の作成の仕方の手ほどきを、国際商事法務連載中の「Q&A」をもとに具体的な事例を用いながら易しく解説するものである。
- ▶ 法律英語に対するニーズが高まるなかで、実際に英文契約書を作成する場合の勘どころが学べる本講座を、貴社フレッシュマンからベテランまでの法律英語研修の場として利用していただきたく、ご案内申し上げます次第である。

開催の要領

- 講師 長谷川俊明 弁護士
- 日時 2021年11月11日(木) 午後1時～午後4時
- 会場 WEB (ライブ配信)
使用アプリ:「Zoom」ウェビナー
- 受講料 会員27,500円 (非会員 30,800円)
- 申込締切 2021年11月8日(月)午後3時
- 申込先 一般社団法人国際商事法研究所 〒104-0032
電話 03(3553)6838～9 Fax 03(3555)1545
E-mail:ibl@ibltokyo.jp <https://www.ibltokyo.jp>

- 参加方法 ① 受講申込書にご記入の上、郵送、Fax、またはホームページによりお申込下さい。
② 請求書を郵送いたしますのでお支払手続をお願いします。ご入金確認後ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。
③ 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。当日は、15分前からアクセス可能です。
④ 開催日前日までに、当日使用するレジユメ等を郵送させていただきます。
- 注意事項 お申込前に、Zoom 公式サイトにて利用環境についてご確認ください。※録画はご遠慮ください。

お取消の場合は開催日の前営業日までに必ずご連絡ください。ご連絡のない場合は準備の都合上、受講料のご返金はいたしかねますので予めご了承ください。

主要講義項目

I 国際契約としての英文契約の重要性

- (1) 国際取引の拡大と英文契約
- (2) 国際契約失敗事例からの教訓
- (3) 電子商取引と国際契約
電子商取引におけるグローバルルール…ネット取引と裁判管轄条項、仲裁条項、通知条項
- (4) ウィーン条約の加入と取引ルールのグローバル化
- (5) 「国際ハブ法務」による契約実務、データ取引の英文契約

II 英文契約を扱う場合に要求される基礎知識

- (1) 契約意識の違い、グローバル企業集団内部統制としての英文法律文書管理
- (2) 英文契約に使われる英語＝法律英語の基礎
- (3) 英文契約と英米契約法 a. 契約の成立 (offer and acceptance)
b. “Contact” と “Agreement” c. 書面性の要件
d. 方式契約と非公式契約 e. 約因理論

III 英文契約の形式と構成

- (1) Letter Agreement と正式な契約書
- (2) Letter of Intent (L/I) とは。MOUの効力が争われた事例検討…排他的交渉条項の効力
- (3) 通常の構成、契約のタイプごとの違い
- (4) 添付書類・別表との関係
- (5) レター形式のS.A., N.D.A (秘密保持契約) の事例検討

IV 慣用的表現と一般条項 (販売店契約を題材に)

- (1) 慣用語句・表現、交渉とコミュニケーションの法律英語表現、ポイントになる用語・用法
- (2) 一般条項とそうでない条項との区別

- (3) 一般条項ごとのポイント a. 不可抗力条項 b. 秘密保持条項
c. 完全合意条項 d. 準拠法条項 e. 裁判管轄条項、仲裁条項 f. 譲渡条項

V 簡単な英文文書ドラフティングの演習

- (1) リーガル・ドラフティングのコツと“Plain English”
- (2) 事例に基づくリーガル・ドラフティングの演習

VI 契約締結交渉のテクニック

- (1) 交渉の英語表現と交渉の“入口”部分でのS.A. (秘密保持契約) のポイント
- (2) “文書合戦” (battle of forms) とは
- (3) 先例集、チェックリスト、法律用語辞典の活用
- (4) 弁護士 (含、外国弁護士) 活用上の注意

【質疑応答】

講師のプロフィール

長谷川俊明 弁護士

【略歴】

昭和48年早稲田大学法学部卒。53年、米国ワシントン大学ロースクール法学修士。その後、ニューヨーク、ロンドンの法律事務所にて実務に携わり、第一線の渉外弁護士として活躍中。

【主要著書・論文】

訴訟社会アメリカ (中公新書) 日米法務摩擦 (中央公論新社)
個人情報保護・管理の基本と書式 (中央経済社) 英文契約一般条項の基本原則 (中央経済社)
海外子会社のリスク管理と監査実務 (中央経済社) ロードス21法律英語辞典 (東京堂出版)
ビジネス法律英語入門 (日経文庫) 改訂版 条項対訳英文契約リーディング (第一法規)
訴訟社会 (訳書、保険毎日新聞社) 改訂版 法律英語と紛争処理 (第一法規)
英文契約700のQ & A (「国際商事法務」誌上にて、好評連載中)

キ リ ト リ 線

(11月)		受 講 申 込 書		一般社団法人 国際商事法研究所 御中	
「英文契約書作成の実務基本講座」を受講したく、下記のとおり申込みます。				2021年 月 日	
会社名		住 所	〒	TEL	
部 課 名					
受講者名					
メールアドレス					

会員について、入会案内書をご希望の方はご請求下さい。ご記入いただいた個人情報は、当所からの各種ご案内の目的以外には利用いたしません。